

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	刈谷市立しげはら園			
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 20日 ～ 令和 7年 3月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数)	26人
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 10日 ～ 令和 7年 3月 21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○訪問先施設評価実施期間	令和 6年 12月 20日 ～ 令和 7年 3月 20日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	16施設	(回答数)	16施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公立の事業所であるため、市内の幼稚園・保育園との連携が取りやすい。	事前訪問や支援者会議など、必要に応じて連携している。	
2	保育園、幼稚園での経験がある職員が訪問支援を担当することで、子ども理解や保護者への対応がしやすい。	外部の研修に参加したり、外部講師を招いての研修会を行ったりしている。	
3	市内の学校、保育園、幼稚園、事業所、等が「しげはら園」を知っている。	研修を開催する時には、市内の事業所や保育園、幼稚園等へも参加の案内をしている。	
4	心理士、言語聴覚士、作業療法士、保育士、幼稚園教諭等の資格を持つ訪問支援員が訪問をしている。	様々な専門職が訪問を行うことで、それぞれの専門的な見解を得られるように訪問を行っている。	令和7年度から、専門職の訪問支援をより多く行えるようにします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	直接面談や報告をすることや、報告書を送付し電話で相談を受けている。それ以外（ZOOMや電子サイン等）では、訪問の報告や相談を行うことはしていない。	職員、保護者の両方が、通信システムの知識があまりない。	どのようなことを保護者が求めているか、不便に感じている保護者がいるか等を把握することから、行っていきます。
2	多職種の訪問支援員が訪問を行っているが、専門職の支援者は職員ではないためスケジュール調整が必要。	常勤の専門職の人材確保は難しく、雇用の調整が必要。	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	刈谷市立しげはら園	公表日	令和7年3月26日
		利用児童数	令和7年2月28日 回収数 26/26

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	17	1		8		必要に応じて教具や教材は提示していますが、どんな教具があるかをお知らせすることはしていません。今後もそれぞれのケースに合わせて対応していきたいと思います。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	26					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	26					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	25	1				事前に保護者の希望を聞き、相談して訪問を行っていますが、訪問先との調整もあるので、丁寧な説明をしています。
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	26					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	20	2		4		訪問先とも話し合いを行い、同意のサインを頂いています。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1		4	ガイドラインの内容が分からない。	重要事項を説明する時に、ガイドラインについても内容をお知らせしていきます。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1				
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	26					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	15	3		8	把握していないかもしれない。	必要な情報提供や、研修会のお知らせなどの周知のし方の工夫をしています。

保護者への説明等	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	26					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26				助かっています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	2				時間や、伝達方法については今後検討していきます。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	26					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	24	2				報告の際に、訪問先とのやりとりの内容はお伝えしていますが、不十分であれば改善していきます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	26					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1		16	こちらが見ていないだけなのかもしれない。	ホームページの周知は不足していたので、今後はお知らせしていきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	19			7	把握していないだけなのかもしれない。	重要事項説明書に明記されていますが、周知もしていきたいと思います。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23			3	把握していないだけなのかもしれない。	重要事項説明書に明記されていますが、周知もしていきたいと思います。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	24			2	気持ちを確かめたことがないのでわからない。	訪問時の対象児の様子についても丁寧にお話ししていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	26					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和 7 年 3月 26日				
刈谷市立しげはら園		訪問先数 令和 7 年 2月 28日		回収数 16／16		
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	15	1	0	・対象児の姿や成長にあわせて、どのように支援していくとよいのか、具体的に説明してくれるので分かりやすい。 ・とても分かりやすいです。 ・今から何をしていくと良いかが分かりやすく具体的なため、保育者もすぐに取り入れられてよいと感じます。 ・助言は分かりやすいが、他にも支援が必要な子がいる中で、取り入れることが難しい状況です。	分かりやすく、取り入れやすい支援を示せるよう、今後も努力していきたいと思います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16	0	0	・専門的な知識・技術を教えていただけている。 ・保育職では気付かない、分からない子どもの読み取りもあり、学びになる。 ・子どもの目線など、細かい所も見えていただいています。	訪問支援員に加えて、言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士等の専門職からも助言をもらうことで、今後も専門的な支援につなげていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16	0	0	・質問をしやすい雰囲気をつくっていただき、適時質問に対して丁寧に分かりやすく回答してくれる。 ・今、困っている姿に対しても相談に乗ってくれたり様子を見て考えてくれたりして、分かりやすい。 ・小学校の現状を考えると、時間の確保が難しいです。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	14	2	0	・現状に応じたアドバイスをいただくことができるので不安が軽減される。 ・具体的に支援していくことが分かり、次への支援内容をしていこうという前向きな姿勢になれた。 ・悩み、疑問に沿ってくださるので、解消、軽減できる。 ・ご家庭に直接尋ねにくいことなど、間に入っていただき安心できます。	課題や困りごとが軽減されるよう、助言を行っていますが、うまくいかないこともあると思います。助言したことに対しての、事後確認やフォローを更に細やかにしていきたいと思います。
5	事業所からの支援に満足していますか。	15	1	0	・記録にまとめていただくことで振り返りができる。また、保護者との連携・共有にもつながり大変満足している。 ・訪問支援後の話し合いの時間は、有意義でありがたいです。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・とても勉強になりました。 ・保護者との連絡をしっかりと取っていただいているため、保護者が安心している様子が伺えます。 ・集団で過ごす上でのアドバイスや援助方法を助言頂けることは、とても勉強になっています。 ・担任も必要に応じて相談でき、支援をする上でとても心強いです。また、継続して子どもの様子を見ていただけるので、成長や小さな変化にも気付かせて頂ける良い機会にもなっていると思います。 ・継続的に支援とアドバイスをしていただけることに感謝しています。 ・就学前の様子と比較して、現在の育ちを具体的に教えていただけることがとても参考になります。					利用者、保護者、訪問先施設へ、必要な支援を行い、子どもたちが生活する場で過ごしやすくなるよう、今後も努力していきたいと思います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		刈谷市立しげはら園		公表日			令和 7 年 3 月 2 6 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点			
環 境 ・ 運 営 ・ 整 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4						
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・利用を希望された方全員に実施している。 ・訪問先からの希望が多い、専門職による訪問がより多くできるように日程調整をしたり、人材を確保したりしてい				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4						
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表で保護者の意向を確認している。面接時に改善の必要があればその都度行っている。				
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4						
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		外部評価の必要性を踏まえた上で、今後検討していきます。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部で研修がある時は、参加できる環境を整えている。				
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		保護者からの聞き取りと、実際の子どもの様子を十分に観察した上で作成している。				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4						
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		訪問先の職員から聞き取りを行い、現状や特性、課題等を話し合っている。				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		計画書を訪問先職員と共有した上で、実際の支援場面で確認している。				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		臨床心理士による発達検査を行っている。				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインを踏まえ、その子に合った支援を行っている。				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		しげはら園の職員間で共有し、訪問先の支援者とも共有できている。				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		訪問時に、観察前の事前カンファレンスを行い、同行する専門職とも支援に必要な情報共有治た上で支援を行っている。				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		必ず、観察後のカンファレンスを行い、対象児の成長や課題を確認し、支援方法について話し合いをしている。				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4						
関 係 機 関 や 保 護 者 と	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4						
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4						
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4						
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4						
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4						
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4						
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4						

の 連 携	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		保護者と面談を行い、子どもや家族の意向を確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		・保育所等訪問支援の保護者は、通園先での保護者会に参加しており、保護者会としての訪問支援利用者同士の交流は望んでいない。研修会の機会等で交流することはある。 ・児童発達支援の利用者と交流する機会がある。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3	センターとしてのホームページはあるが、保育所等訪問支援の具体的な掲載は行っていない。	ホームページの内容等は、今後検討していきたいと思います。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		訪問先の職員から困っていることや支援でうまくいかないことなどを聞き、必要な助言や支援を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		報告書を作成し、様子を伝えたり支援内容の共有を行ったりしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			